

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1531417
園名	いづみ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

アウトドア

<テーマの設定理由>

当園は、「自」と「然」を教育目標に掲げている。
年間を通して園庭遊びをしたり、徒歩で近くの公園を訪れている。時には公共交通機関を利用して、高尾山登山や都外でのキャンプを実施している。夏には世田谷公園のプールに通い、水に親しむ。仲間と共に自然の中で遊び、自発性を育む。

2. 活動スケジュール

2024 年

5 月 24 日 全クラス親子遠足

6 月 12-14 日 年長組キャンプ（埼玉県立名栗げんきプラザ）

7 月 2・4・5・10・11 日 世田谷公園プール保育

9 月 5・10・12・19・24 日 運動会ごっこ（園内や公園にて運動会競技練習）

9 月 28 日 運動会

10 月 11 日 年中組登山（高尾山）

10 月 25 日 全クラス碑文谷公園遠足

11 月 8 日 年長組登山（高尾山）

2025 年

2 月 13-14 日 年長組宿泊保育（新潟県南魚沼市のスキー場にて雪遊び）

その他、日常的に園庭や近くの世田谷公園、駒繫公園にて外遊びを実施した。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ケガや事後の危機管理のため、園庭のアスレチックを点検したり樹々の剪定をしたりして環境を整えた。
- ・公園遊びや登山、キャンプを実施するにあたり、教諭だけで子どもたちをみるのではなく、世田谷公園プレーパークのスタッフや国際自然大学校のスタッフと連携した。
- ・園内から園庭、公園、高尾山、キャンプ場、スキー場へと活動の場を広げ、子どもたちの心と体も大きく動く様子が見られた。喜ぶ声をあげながら全身を使って仲間と自然を享受した。
- ・「山にはどんな生きものがいるだろう?」「(現地に行くには) どんな乗り物に乗って行くのか?」「雪ではどんな遊びができるだろう?」といった疑問を持ち、自然の中に身をおくことを待ちわびた。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・普段園内では見ることのできない、子どもの輝いている一面を見ることができた。
- ・キャラバンシューズの靴紐結び、自分の荷物管理など、園内の保育で積み重ねたことが実践できた。
- ・グループやクラス全体で活動することで、協力する力を身につけることができた。
- ・公園に行く途中では地域の方とも交流することができ、園の理想である「地域に根付いた幼稚園」を体現することができた。



1. 活動のテーマ

<テーマ>

カプラ

<テーマの設定理由>

カプラブロックというワンサイズの板を使って作品をつくり上げる過程で、創造力や集中力、忍耐力を育む。

当園では“みんなでみんなを育てる”ことを大切にしている。親子で参加するワークショップでは、チームで大掛かりな作品に挑戦するため保護者が他の家庭の子どもとも深く関わる機会となる。

2. 活動スケジュール

2024 年

5 月 15 日 年長組カプラワークショップ

11 月 8 日 年長組カプラ

12 月 4 日 年中組カプラ

その他、日常的にカプラブロックを出して自由に作品をつくった。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・年長組親子を対象に、カプラを専門的に扱うスタッフに依頼してワークショップを実施した。グループごとに協力して大掛かりな作品をつくりあげた。
- ・「もっと高く積み上げたい」「ここに道路をつくりたい」などの声があがり、個人の想像力をみんなで共有することができた。
- ・できあがった作品を観察して楽しみ、最後に作品を崩す際には歓声があがった。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・年長組親子を対象に開催したワークショップでは、他の家庭同士で交流が生まれ、みんなでみんなを育てる”ことが実現した。
- ・ワークショップのスタッフを招くことで、普段は作ることができない大作にチャレンジできた。
- ・雨で園庭遊びができない日には黙々とカプラで遊びこむ姿が見られ、子どもたちの集中力を養うことができた。



1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマの設定理由>

園内の絵本の部屋には 2000 冊ほどの蔵書があり、各クラスにも本棚を設置している。絵本や図鑑、小学校低学年が読むような本もそろえており、子どもたちの心を豊かに育む。

2. 活動スケジュール

毎日、1 日 2-3 冊、本の読み聞かせを実施した。
園外保育時にも絵本を持ち出して、自然の中でも読み聞かせを実施した。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・主に「こどものとも社」より本を新しく購入し、豊富な蔵書をそろえている。
- ・教諭が絵本を読み聞かせている際には、全身で真剣に絵本の世界に浸り、耳を傾けている姿が見られた。
- ・忍者の絵本を読んでいる際には、(絵本のページに隠れている忍者が)「いた!」「ここにもいる!」と声があがったり、笑い声が聞こえた。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・園外で発見した植物や昆虫を図鑑で確かめる、子どもたちの積極的な姿を見ることができた。
- ・季節や行事に合わせた絵本を読むことで、物語の世界にどっぷり浸る子どもたちの姿を見ることができた。
- ・教職員間でお勧めの絵本を紹介し合い、その絵本を担当が自クラスで読んだ。本を読んでいる時の子どもたちの反応や読み終わった後の感想を教職員間で共有することで、読み手の知識や想像力が深まった。



1. 活動のテーマ

<テーマ>

クリスマス

<テーマの設定理由>

当園ではキリスト教主義に基づき教会暦を重んじている。毎年クリスマスまでの4週間を待降節 Advent と呼びならわし、神の子イエス・キリストの到来を記念する。待ち望む行為により、子どもたちが将来の自分の人生に希望を持ちやすくなることを期待する。

2. 活動スケジュール

2024 年

11 月 22 日 アドベント I

11 月 29 日 アドベント II

12 月 6 日 アドベント III

12 月 14 日 クリスマス

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ ページェント（キリスト誕生の様子を描いた劇）に向けて歌や台詞を練習した。「イエスさまってどんな人？」という疑問を持ち、教諭とともに聖書を読みながら学んだ。
- ・ 初めて年中長組のページェントを見た年少組からは「映画みたいだった」との感想があり、ページェントへ参加することを喜んだ。
- ・ 教諭と子どもたち、保護者で作ったオーナメントをツリーに飾り付けたり、プレゼントを作って準備したりして、クリスマスを待ち望んだ。誕生の「喜び」、プレゼントを贈る「祝福」の意味について考えた。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・聖書に興味を持ち真剣に話を聞く姿勢から、子どもたちの新たな一面に気づくことができた。
- ・一人ひとりがクリスマスの意味を考えながら演じたページェントでは、クラスごとに力を合わせて一つのことを達成する楽しさを感じることができた。



1. 活動のテーマ

<テーマ>

相撲

<テーマの設定理由>

当園では、仲間と共により遠くを目指して歩くために、普段から体幹づくりを大切にしている。瞬発力や持久力、強い筋力が求められる相撲という競技を通して、アウトドアに親しむ体を育てる。竹馬、もちつき、こま回しなど伝統的な遊びや行事を大切にしている園として、相撲部屋を実際に訪ねる経験も教育効果が期待される。

2. 活動スケジュール

11月25日 年長組相撲大会
12月6日 年中組相撲大会
12月21日 立浪部屋見学

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・立浪部屋という相撲部屋を訪ね、稽古の見学・体験、ちゃんこ鍋の喫食などを通して力士の生活に触れた。
- ・園長が行司となり、園内でも相撲大会を実施した。相撲をとる仲間を「がんばれ！」と応援する姿が見られた。礼に始まり礼に終わる。始まる前には「よろしくお願いします」、負けてどんなに悔しくても「ありがとうございます」と言うことを大切にした。

4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・低学年が高学年のクラスの動きを手本にして自身も実践する姿が見られた。
- ・勝つことにこだわるのではなく、相手を怪我させないための力加減や安全性を学ぶ子どもがいた。
- ・相撲のルールや立ち居振る舞いを見て、日本の伝統文化を学ぶことができた。

